



Cisco WCS とロケーション サーバの同期化

この章では、Cisco WCS とロケーション サーバを同期化する方法を説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco WCS と Cisco WCS の同期の維持」の項 (P.3-1)
- 「同期化情報の表示」の項 (P.3-6)

Cisco WCS と Cisco WCS の同期の維持

この項では、WCS とロケーション サーバを手動および自動で同期化する方法を説明します。



(注)

同期化する前に、第 1 章の第 1 項から第 4 項までの互換性マトリクスを参照して、WCS とロケーション サーバのソフトウェアに互換性があることを確認してください。

ネットワーク設計とロケーション サーバとの同期化

ロケーション サーバを WCS データベースに追加すると、ネットワーク設計（キャンパス、ビルディング、および屋外のマップ）をロケーション サーバデータベースに追加（同期化）できます。ネットワーク設計を Cisco WCS およびロケーション サーバデータベースに保存した後に、2つのデータベースを随時再同期化できます。

WCS ネットワーク設計をロケーション サーバと同期化する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** **Location > Location Servers** を選択し、All Location Servers ページを表示します。
- ステップ 2** ドロップダウン メニュー（右側）から、**Synchronize Servers** を選択し、**GO** をクリックします。

Synchronize WCS and Location Servers ページが表示されます。
- ステップ 3** Synchronize メニューから **Network Designs** を選択します。

ステップ 4 ネットワーク設計を 1 つまたは複数のロケーション サーバに割り当てるには、それに対応する **Assign** リンクをクリックします。

ステップ 5 “Assign to servers” ダイアログボックスで、ネットワーク設計に割り当てる各サーバのチェック ボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

赤いアスタリスク (*) が **Assign** リンクの横に表示されます。割り当てを元に戻すには、**Reset** をクリックします。変更を適用せずに **All Location Servers** ページに戻るには、**Cancel** をクリックします。



(注) ネットワーク設計は、いくつかのビルディングを含む大きなキャンパスで構成され、各ビルディングは異なるロケーション サーバで監視されている場合があります。これが、複数のロケーション サーバに 1 つのネットワーク設計を割り当てることが必要な理由です。

ステップ 6 **Synchronize** をクリックし、Cisco WCS およびロケーション サーバ データベースを更新します。

Cisco WCS とロケーション サーバ データベースが同期化されている場合は、同期化されている各ネットワーク設計エントリの **Sync. Status** カラムに緑色の双方向の矢印アイコンが表示されます。



(注) ロケーション サーバからネットワーク設計の割り当てを解除するには、“Assign to servers” ダイアログボックスでそのサーバのチェックボックスをオフにし、**OK** をクリックします。次に **Synchronize** をクリックします。Sync. Status カラムに赤い円が付いた双方向の矢印アイコンが表示されます。

コントローラとロケーション サーバの同期化

ロケーション サーバでデータを収集する前に、Cisco WCS を使用してサーバをコントローラとアソシエートし、それらを同期化する必要があります。最初の同期化の後、いつでもコントローラとロケーション サーバを再同期化できます。

ロケーション サーバとコントローラを同期化する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Cisco WCS で、**Location > Location Servers** を選択します。

All Location Servers ページが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウン メニュー (右側) から、**Synchronize Servers** を選択し、**GO** をクリックします。

Synchronize WCS and Location Servers ページが表示されます。

ステップ 3 Synchronize メニューから **Controllers** を選択します。

Controllers summary ページが表示されます。

ステップ 4 ロケーション サーバをコントローラに割り当てるには、対応するドロップダウン メニューからサーバを選択します。

ステップ5 **Synchronize** をクリックして、コントローラとロケーションサーバデータベースを同期化します。

Cisco WCS とロケーションサーバデータベースが同期化されている場合は、同期化されている各コントローラエントリの **Sync. Status** カラムに緑色の双方向の矢印アイコンが表示されます。



(注) ロケーションサーバと同期化するには、コントローラ名は固有である必要があります。同じ名前を持つコントローラが2つある場合、同期化できるのは1つだけです。



(注) ロケーションサーバからコントローラを削除するには、コントローラのドロップダウンメニューから **-- Unassigned --** を選択し、**Synchronize** をクリックします。**Sync. Status** カラムに赤い円が付いた双方向の矢印アイコンが表示されます。

イベントグループとロケーションサーバの同期化

WCS イベントグループをロケーションサーバと同期化する手順は、次のとおりです。

ステップ1 **Location > Location Servers** を選択し、All Location Servers ページを表示します。

ステップ2 ドロップダウンメニュー（右側）から、**Synchronize Servers** を選択し、**GO** をクリックします。

Synchronize WCS and Location Servers ページが表示されます。

ステップ3 Synchronize メニューから **Event Groups** を選択します。

ステップ4 1 つまたは複数のロケーションサーバをイベントグループに割り当てるには、それに対応する **Assign** リンクをクリックします。

ステップ5 “Assign to servers” ダイアログボックスで、イベントグループに割り当てる各サーバのチェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

赤いアスタリスク (*) が Assign リンクの横に表示されます。

ステップ6 **Synchronize** をクリックし、Cisco WCS およびロケーションサーバデータベースを更新します。

Cisco WCS とロケーションサーバデータベースが同期化されている場合は、同期化されている各イベントグループエントリの **Sync. Status** カラムに緑色の双方向の矢印アイコンが表示されます。



(注) ロケーションサーバからイベントグループの割り当てを解除するには、“Assign to servers” ダイアログボックスでそのサーバのチェックボックスをオフにし、**OK** をクリックします。次に **Synchronize** をクリックします。**Sync. Status** カラムに赤い円が付いた双方向の矢印アイコンが表示されます。

ロケーションサーバの自動同期化の設定

WCS とロケーションサーバを手動で同期化すると、すぐに同期化されます。ただし、ユーザが配置の変更（マップやアクセスポイント位置の変更など）を行う場合、それによって、再同期化が行われるまで誤ったロケーションの計算や追跡できないアセットが発生することがあります。同期化されていない状態が継続しないようにするには、Cisco WCS を使用して自動同期化を有効にします。このポリシーは、WCS とロケーションサーバの同期化を定期的に起動し、アラームがあればそのクリアを図ります。

自動同期化を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ1 Cisco WCS で、**Administration > Scheduled Tasks** を選択します。

ステップ2 **Location Server Synchronization** をクリックします。

Location Server Synchronization ページには、最新の自動同期化動作のリストと、設定可能な自動同期化オプションが表示されます。

ステップ3 同期外アラートを送信するようにロケーションサーバを設定するには、**Out of Sync Alerts** フィールドの **Enabled** チェックボックスをオンにします。

ステップ4 自動同期化を有効にするには、**Auto Synchronization** チェックボックスをオンにします。



(注) 自動同期化は、ロケーションサーバに割り当てていない要素（ネットワーク設計、コントローラ、イベントグループ）には適用されません。ただし、割り当てられていない要素には、同期外アラームが生成されます。これらの要素に自動同期化を適用するには、それらをロケーションサーバに手動で割り当てる必要があります。

ステップ5 自動同期化を実行する時間間隔を日時単位で入力します。



(注) リリース 2.1.x 以前では、時間間隔は分単位で表示されます。

デフォルトでは、自動同期化は無効になっています。

ステップ6 **Submit** をクリックします。

同期外アラーム

同期外アラームは、マイナー重大度（黄色）であり、次の条件を満たした場合に発生します。

- Cisco WCS で要素が変更された場合（自動同期化ポリシーによってこれらの要素がプッシュされる）。
- ロケーションサーバで要素が変更された場合（自動同期化ポリシーによってこれらの要素がプルされる）。
- コントローラ以外の要素が、ロケーションサーバに存在するが Cisco WCS に存在しない場合（自動同期化ポリシーによってこれらの要素がプルされる）。
- 要素がロケーションサーバに割り当てられていない場合（自動同期化ポリシーは適用されない）。

次の場合、同期外アラームはクリアされます。

- ロケーションサーバが削除された場合



(注) ロケーションサーバを削除すると、そのサーバの同期外アラームも削除されます。さらに、使用可能な最後のロケーションサーバを削除した場合、“elements not assigned to any location server” のアラームも削除されます。

- 要素が手動または自動で同期化された場合
- ユーザが手動でアラームをクリアした場合（ただし、今後、スケジュール済みタスクが次に実行されるときに、そのアラームが再び発生することがあります）。



(注) デフォルトでは、同期外アラームは有効です。無効にするには、Cisco WCS で **Administration > Scheduled Tasks** を選択し、**Location Server Synchronization** をクリックし、**Auto Synchronization** チェックボックスをオフにし、**Submit** をクリックします。

同期化情報の表示

この項では、ロケーションサーバの同期化ステータスと履歴を表示する方法について説明します。

ロケーションサーバの同期化ステータスの表示

Cisco WCS の Synchronize Servers コマンドを使用して、ネットワーク設計、コントローラ、およびイベントグループとロケーションサーバとの同期化ステータスを表示できます。

同期化ステータスを表示する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Cisco WCS で、**Location > Synchronize Servers** を選択します。
 - ステップ 2** **Synchronize** ドロップダウンメニューから **Network Designs**、**Controllers**、または **Event Groups** を選択します。

選択したコマンドに応じて、要素（ネットワーク設計、コントローラ、またはイベントグループ）のリストが表示されます。リストの Sync Status カラムに、同期化ステータスが表示されます。緑色の双方向の矢印アイコンは、それに対応する要素が、指定されたロケーションサーバと同期化されていることを示します。赤い円が付いた灰色の双方向の矢印アイコンは、それに対応する項目が、ロケーションサーバと同期化されていないことを示します。

ロケーションサーバの同期化履歴の表示

Cisco WCS の Synchronization History コマンドを使用して、最近 30 日間のロケーションサーバの同期化履歴を表示できます。これは、アラームが自動的にクリアされ、自動同期化が有効になっている場合に特に便利です。Synchronization History には、クリアされたアラームの概要が表示されます。

同期化履歴を表示する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Cisco WCS で、**Location > Synchronization History** を選択します。
 - ステップ 2** カラムヘッダーをクリックし、エントリをソートします。
-

Synchronization History ページの Sync Direction カラムは、情報がロケーションサーバにプッシュされたのか、ロケーションサーバからプルされたのかを示しています。Generated By カラムは、同期化が手動であったか自動であったかを示しています。